



受付番号	令和 3 年 11 月 30 日
/	午前 8 時 36 分 受領

令和 3 年 11 月 30 日

胎内市議会議長 天木 義人 様

胎内市議会議員 羽田野 孝子

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問項目	質問の要旨	質問の相手
新型コロナウイルス 3回目のワクチン接種 の予定と感染病床確保 数について	新型コロナウイルス感染症の後遺症が感染者の 48.1%に出るとの調査結果が世田谷区で出さ れた。また、新変異株「オミクロン株」が南アフ リカで確認されるなど、新型コロナウイルス感染 症に対する脅威が広がっている。第6波に向けて の対策について伺う。 1、3回目のワクチン接種の予定について。 2、3回目ワクチン接種時のファイザーとモデ ルナの接種予定について。 3、胎内市・近隣市町村のコロナ患者受け入れ 確保病床数について。 4、国が実施する無料のPCR検査予定につい て。	市 長
デイサービスセンタ ー栗木野荘の業務休止 について	デイサービスセンター栗木野荘の利用家族から 利用者減少のため、令和4年3月をもって業務を 休止し、その後はいわはら荘で対応することにな るとの通知をもらい、山間地がまた寂しくなると 相談を受けたので伺う。 1、栗木野荘の業務状況について。 2、市内のデイサービス、デイケアの利用状況 について。 3、介護保険財政上、在宅介護を進める方策を、	市 長

質問項目	質問の要旨	質問の相手
	<p>とるべきではないかと考えるがいかがか。</p> <p>4、令和2年度の実績で、月平均居宅介護サービス受給者数・地域密着型サービス受給者数・施設介護サービス受給者数と、それぞれ一人当たり1か月の介護保険会計から支払う利用額について。</p> <p>5、在宅介護者への介護手当を増額できないか。</p>	
<p>ジェンダー平等について</p>	<p>コロナ禍で職を失った人が再就職先を探しているが、「子育て中の女性は学校の授業参観等で休まれたりするので男性がいいと言われた。ジェンダー平等になっていないと感じる」と話していた。</p> <p>平成31年、第1回定例会で男女共同参画について質問しているが、その後胎内市役所のジェンダー平等が進んでいるか2か年の変化について伺う。</p> <p>1、市職員の男女別職員数について。係長級の男女別人数について。</p> <p>2、市の審議会委員数と女性の割合について。</p>	<p>市長</p>



受付番号	令和 3 年 11 月 30 日
2	午前 9 時 00 分 受領

令和 3 年 11 月 30 日

胎内市議会議員 天木 義人 様

胎内市議会議員 坂上 隆夫

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
鳥獣被害対策について	<p>毎年、有害鳥獣の被害が起きている中、今年は熊の出没は少ないが、猪の出没の話がよく聞かれるようになった。今年度の状況と課題について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 今年度、罾の設置数と捕獲頭数、農作物の被害件数と被害額はどれくらいか伺う。2. 今年は大長谷地区で猪の被害が多いが何か対策はしたのか。又、罾を設置しても被害が拡大するのは罾の設置数が少ないのではないか伺う。3. 通学路に猿が出没して動かず、生徒が通れない事があった。通学路の猿の出没対策は行っているのか伺う。	市長
農業振興について	<p>今年度の稲作は、米価は下落し、作況指数は 96 と不作の年であった。この様な状況の中、離農や高齢化による担い手不足、耕作放棄地など色々課題はあるが、農地の維持管理では多面的機能支払交付金や中山間地域等直接支払制度を活用している。又、ほ場整備を機に法人化に取り組もうとしている地域もあるが現状と課題について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 多面的機能支払交付金を活用している地域はどれ位あるのか。又、対象となる地域の何割が活用しているのか。事務処理を委託できているが内容はどのようになっているのか伺う。2. 2019 年度以降、経営体育成基盤整備事業法人育成型で着工したほ場整備事業では 2 割の園	市長

<p>雪下ろし対策について</p>	<p>芸導入を目標に設定しているが、野菜作りを行ったことのない地域では栽培技術、販路、中山間地では鳥獣対策など平場でない色々な課題があるがそれらに対する支援の考えはあるのか伺う。</p> <p>昨年度は大雪で多方面にわたり被害が発生したが、今冬も大雪が予想されている。胎内市要援護世帯雪下ろし助成事業については鼓岡地区、大長谷地区の対象者は大変助かっている。胎内市要援護世帯雪下ろし助成事業について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和3年度第1回定例会の中で、雪下ろしの委託単価を検討すると答弁があったがその後、検討、改善はしたのか伺う。 2. ここ数年の申請者数の推移はどうなっているのか伺う。 3. 今年度委託契約している業者数、個人作業員の人数は。又、ここ数年の作業員の推移を伺う。 	<p>市長</p>
-------------------	---	-----------



受付番号	令和 3 年 12 月 / 日
3	午前 9 時 7 分 受領

令和 3 年 12 月 1 日

胎内市議会議長 天木 義人 様

胎内市議会議員 丸山 孝博

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 市民の安心・安全について	<p>(1) デマンドタクシー「のれんす号」の利用範囲を県立新発田病院まで拡大することについて。 利用者の目的として、医療機関への通院が最も多くなっている。利用者が多い「県立新発田病院まで利用可能にしてほしい」という市民の願いに応えるべきではないか。</p> <p>(2) 屋根の雪下ろしの命綱固定器具設置費用助成制度の創設について。 来年 1 月から労働安全衛生法の運用基準が厳しくなるなどにより屋根の雪下ろし作業での命綱使用が必須になる。早急に命綱固定器具の設置を徹底すること。命綱固定器具が設置されていないと、社協等への依頼が困難になるので、低所得世帯や高齢者世帯等に対し、助成制度の創設が求められるかどうか。</p> <p>(3) 国保税の子どもの均等割軽減について。 来年度から未就学児の均等割を 5 割軽減する国の制度が実施されるが、制度の開始に合わせて独自の上乗せ制度の創設・拡充をすべきでないか。</p>	市長

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>2. 気候危機を打開するため、省エネのまちづくりを推進することについて</p>	<p>(4) 補聴器購入補助について。 高額のため低所得者は購入を控えている。県内では、生活の質を落とさないなどの理由により、購入費助成を実施する市町村が増えている。当市でも補助制度を創設したらどうか。</p> <p>(1) 省エネ投資への独自の支援として、断熱・省エネ住宅へのリフォーム、太陽光パネルの設置などへの助成を推進すべきでないか。</p> <p>(2) 新たに予定している施設（中条小学校、生涯学習センターなど）に太陽光パネルを設置し、施設で使用する電力に活用することにより、脱炭素化を推進すべきでないか。</p>	<p>市長</p>



受付番号	令和 3 年 12 月 / 日
4	午前 11 時 / 5 分 受領

令和3年12月1日

胎内市議会議長 天木 義人 様

胎内市議会議員 寛 智也

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 胎内市固有の観光資源について	<p>今春にリニューアルオープンした樽ヶ橋遊園は順調に来場者数が増え、市固有の観光資源として大いに市の PR に寄与していると思われませんが、市内外からの更なる知名度アップを求めたときにできることについて伺います。</p> <p>① 昨年までの当市は、夏になると県内一や日本一にもなるなど“暑いまち”として名を馳せてきましたが、今年1月のアメダス移設により、まるで名前が出なくなりました。ただ当然のごとく実際の気温に変化はなく、他市町村より明らかに暑いと感じられることが多々あります。全国には当市のように日本最高気温を記録した自治体はいくつかあり、県をこえてタッグを組み、情報交換やサミットなどを行っている団体もあります。</p> <p>せつかくの日本一になるような条件を、アメダスの移設により、このように変更した理由について伺います。</p> <p>(1) 移設した理由と必要性 (2) 移設先の選定理由 (3) 移設したことにより生じるメリット (4) 過去地データと現行地データの比較検証</p>	市長

(2枚中1枚目)

<p>2. 通学路における降雪時の対策などについて</p>	<p>② 胎内市観光大使として、いくつかの団体やキャラクターが活躍しているが、その役割と条件、また選出方法等について。</p> <p>近年のゲリラ豪雨や、昨年の大雪など異常気象が続く中、降雪時の児童・生徒のための通学路を確保する対策などについて伺う。</p> <p>① 通学路の歩道除雪の作業完了と通学時間のギャップが至る所でみられるが、その対策は。</p> <p>② 市内に8割あると説明があった歩道のない通学路に対して、非降雪時にはグリーンベルトや交通安全指導で対応するとお聴きしたが、降雪時の対応強化への考えは。</p> <p>③ 消雪パイプが整備されていて歩道のない道路では、降雪時に路側帯が雪で覆われ、車道を歩いて通学しなければならない児童生徒が多い。通学路になっている路側帯を確保するための除雪の必要性について。</p> <p>④ 中条中学校の生徒昇降口前の降雨・降雪時の排水対策について。</p>	<p>市長 教育長</p>
-------------------------------	---	-------------------



受付番号	令和 3 年 / 2 月 / 日
5	午前 11 時 4 / 分 受領

令和 3 年 12 月 1 日

胎内市議会議長 天木 義人 様

胎内市議会議員 小野 徳重

一 般 質 問 通 告 書

胎内市議会会議規則第 62 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
人口減少及び少子化対策について	<ol style="list-style-type: none">1 人口減少は日本全体のことはあるが、当市で進む人口減少に対して政策を総動員し積極的に取り組むべきと思うが、市長はどのように考えているのか、また、どのような対応策がとられているのか伺う。2 少子化は全国的な課題であるが、自治体によって出生率に大きな差があるのが現実である。当市の合計特殊出生率について市長はどのように認識されているのか伺う。3 少子化対策がある程度の効果をあげている自治体について、積極的に研究分析し、良いところは取り入れる姿勢が重要と思うが、具体的な研究体制の整備や今後の戦略についてどのように考えているのか伺う。	市 長
マイナンバー制度について	カードの様々な活用事例などが紹介されているが、当市におけるマイナンバーカードの機能を利用した住民サービスの提供や利用者へのポイント付与など様々な利活用についての考えはあるか伺う。	市 長

<p>避難所としての学校の防災機能強化について</p>	<p>地域の避難所となる学校施設の防災機能の整備に当たっては、「施設の安全性の確保、必要な機能の確保、円滑な運営方法の確立、教育活動の早期再開」が重要とされている。災害時における避難所の在り方、特に学校についての考え方、既に実施されている対策について伺う。</p>	<p>市長</p>
<p>児童生徒の悩みの把握について</p>	<p>急激な社会変動の中、児童生徒の抱える問題が多様化し、深刻化する傾向が見られる。身体的悩みや性格、友人関係、家庭生活、ネットや携帯電話を介したいじめやトラブルなど、様々な悩みを抱え学校生活を過ごしている児童生徒もいると思うが、このような児童生徒の悩みをどのように把握し、対応しているのか伺う。</p>	<p>教育長</p>



受付番号	令和3年12月1日
6	午前11時50分受領

令和3年12月1日

胎内市議会議長 天木 義人 様

胎内市議会議員 薄田 智

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
若者の人口減少対策について	<p>本市の令和2年度人口動態で、合併後初めて自然減が300人を超えた。本市では婚活支援、不妊治療費助成など少子化対策に積極的に取り組んできた。また社会減対策では移住や定住対策を推進してきた。しかしながら各集落では若者が流出し、高齢化率も高まり、地域が廃れ元気が失われつつある。人口減少は地域の活力だけでなく、地域経済、産業活動の縮小など地域財政にも大きな影響を及ぼす。人口減少対策は最重要であり、喫緊の課題である。これまでも移住定住促進など、人口減少対策については、一般質問などの機会を通じて議論してきたが、今後の若者の人口減少対策等の施策について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 令和2年度の人口が合併後はじめて自然減で300人を超え、136行政区の中で高齢化率が50%を超える区が17ヶ所になった。この実態を踏まえ、検証と今後の具体策の考えは。2. 若者の人口減少対策の組織編成について、人口減少には市を挙げて総合的に取り組む必要があると考える。対策は福祉・医療・教育・産業・都市整備など多岐にわたり複合的かつ継続的に取り組む必要があると考えるが。3. 転入者への優遇税制制度や助成金制度の導入の考えは。4. 市外に出ている学生等がマイナンバーカードを利用してコンビニ等で各種行政書類の交付を受ける制度について。	市長
高齢者の運転事故と安全対策について	<p>近年、全国的に高齢ドライバーの運転ミスによる運転事故が多発している。事故の原因を調査するとブレーキとアクセルを踏み間違えての暴走により、多くの死傷者が出ている。本市における高齢ドライバーの運転事故の実態と安全対策について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 75歳以上の高齢ドライバーによる交通事故発生の状況は。2. 75歳以上の免許保有者と免許証返納状況は。3. デマンドタクシーの運行範囲の拡大、要望が強い県立新発田病院までの拡大についての考えは。4. 安全運転や事故の検証の観点からドライブレコーダーの搭載を推進し、補助金を出す等の支援の考えについて。5. 小学校の通学路の安全確認、歩道がない場所の安全対策は。	市長

胎内市議会議員 天木 義人 様



受付番号	令和 3 年 / 2 月 / 日
7	午後 5 時 3 分 受領

一 般 質 問 通 告 書

令和 3 年 1 2 月 1 日

胎内市議会議員 渡辺 栄六

胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質 問 の 要 旨	質問相手
在宅医療・介護連携推進事業について	<p>在宅医療・介護連携推進事業は、平成 27 年度より介護保険法の地域支援事業として位置づけられた、全国で展開されている取り組みである。</p> <p>本事業では、地域の在宅医療の提供体制の確保について、それぞれの市町村が主体となって、医師会等と連携しながら取り組むこととされている。</p> <p>従来、医療は、専門医療の病床整備が二次医療圏ごとに行われるなど、主に都道府県が担っている分野であるが市町村が在宅医療の基盤整備の実施主体とされたことの背景、意義、また、市に求められている責務と役割は重要になると考える。</p> <p>1 在宅医療・介護連携推進事業の推進に対しては、市のこれまでの取り組みとの連続性を踏まえ、市独自に実施内容の一層の充実を図るという姿勢が基本になると考える。市の考え、意気込みを伺う。</p> <p>2 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進について。</p> <p>安心・安全の在宅での療養生活には、時間的に切れ目がなく、急変時にも、夜間・休日を含めた対応ができる医療体制がもとめられる。市はどのように切れ目のない体制を構築していく考えか。また、現状認識は。</p> <p>3 市における、訪問診療と訪問介護支援の現状についてはどのようなか。</p> <p>4 市における、在宅看取りの現状と認識はどうか。</p>	市長

<p>公営住宅の有効利用について</p>	<p>5 重度の医療・介護を必要とする方が在宅で療養できるかどうか、在宅などで看取りができるかどうかについては、そのために必要な医療・介護の提供体制がなければ実現できない。そこで、地域包括ケアシステムの実現に向け、在宅医療・介護における多職種連携の推進について、どのように取り組み、どのような課題があるか。</p> <p>公営住宅はニーズが高く、入居希望者の待機状態が依然として多く見受けられる一方で、長期間空き室となっている住宅が目立つところがある。空き室となっている住宅を有効利用できるよう考えるべきである。</p> <p>1 公営住宅は築年数が進むにつれ、老朽化が著しい住宅も見受けられるが現状認識と、今後の公営住宅のあり方についての考えは。</p> <p>2 現在、入居可能な空き室と、政策空き家はどれくらいあるか。</p> <p>3 長期間にわたり、空き室となっている住宅を有効利用してもらうための施策は考えているか。</p>	<p>市長</p>
----------------------	--	-----------



受付番号	令和3年12月2日
8	午前10時10分受領

令和3年 12月2日

胎内市議会議長 天木 義人 様

胎内市議会議員 渡辺 秀敏

一 般 質 問 通 告 書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問項目	質問の要旨	質問の相手
財政力の強化について	<p>コロナ禍で財政への影響が懸念された中、令和2年度一般会計決算においては剰余金が例年に比べ大幅に増加しているが、次の点について伺います。</p> <p>① 増加の要因についてどのように分析しているか。</p> <p>② 御殿場市では、ゴルフ場にふるさと納税を目的とした自動販売機を設置し、返礼品としてプレー代の割引券を交付する方法を取り入れているが、当市でもゴルフ場や公共施設等に同様の方法を取り入れることはできないか。</p> <p>③ コロナによる経済対策としてプレミアム商品券やうま得キャンペーン等の各種支援事業が実施されたが、割烹等の一部飲食店においては未だに経営が厳しい状況におかれている。このような状況が更に長引くことによって、結果的には市の財政にも影響が及ぶことも懸念されるが、実施された経済支援の実効性をどのように評価しているか。また、更なる支援策の考えは。</p>	市長
市の魅力向上の取り組みについて	<p>多くの自治体においてまちの魅力向上が課題として取り上げられると思うが、次の取り組みについて伺います。</p> <p>① 市の魅力を再発見または向上させるために、</p>	市長

質問項目	質問の要旨	質問の相手
	<p>市内の風景や伝統文化の写真を募集してのコンテストを更に幅広く実施してはどうか。観ることより撮ることの方が魅力を再発見する効果は大きいと思うので写真の募集に重点を置いた方がよいと思うがいかがか。</p> <p>② 不法投棄の回収等既に実施しているところではあるが、完全に行うことは難しいと思われる。そこで、環境の整備や美化に関し、市民からアイデアを募集する取り組みはできないか。</p> <p>③ 市の特徴や魅力を更に積極的に市報やホームページで発信できないか。</p>	